

## 「技研バイオの森」

貴重植物群落の再生手法の確立を目指して

### Experimental Field for Plant Biotechnological Researches, "Biotech Woods"

Aiming at Establishment of Plant Community Regeneration Techniques for Endangered Species

(電気利用技術研究所 バイオ・栽培G)

技術開発本部構内に新設された緑地の一部を活用して当社の植物バイオ研究の成果をわかりやすく示せる場所として整備し、「技研バイオの森」と命名した。「技研バイオの森」は、湿地・池、植物見本コーナー、試験圃の3つのゾーンで構成し、これまでに研究対象としてきた植物（シデコブシ、ササユリなど）を中心に植栽した。今後は、貴重植物群落の再生手法の研究、当研究所で開発された植物新品種の展示などに活用する。

(Biotechnology and Cultivation Group, Electrotechnology Applications Research and Development Center)

An experimental field for showing the results of our plant biotechnological researches plainly has been constructed in the newly-provided area at the Research & Development Center.

The field was named "Biotech Woods". "Biotech Woods" is composed of three zones: a damp ground and marsh zone, a plant sample zone and an experimental field zone. The plants were star magnolia, bamboo-leaved lily etc. those have been the subjects of our biotechnological research. In the future, this area will be utilized for the research in plant community regeneration techniques for endangered species, the exhibition of new plant varieties from our development work and so on.

## 1

### 背景

近年の電気事業では、地球環境問題への対応（大規模植林など）、電力施設の建設や補修におけるミティゲーション（貴重植物群落の保全など）、発電所立地に伴う地域農業の振興（地域特産作物の開発など）などに植物バイオ技術を応用することが重要となっている。そこで、技術開発本部構内に新設された緑地の一部に、当社の植物バイオ研究の成果をわかりやすく示せる場所として「技研バイオの森」を設けた。

成り、湿地については、東海地方の湿地を模擬し、粘土の不透水層上の砂礫層中を水が流れる構造とした。主な植栽植物は、湿地・池にはシデコブシ、ミズバショウなど、植物見本コーナーにはハマナツメ、ササユリなど、試験圃には組織培養で増殖したクスノキなどで、これまでに当社が研究対象としたものである。

## 3

### 今後の展開

今後も東海地方固有の湿地性の植物（シデコブシ、シラタマホシクサなど）の群落保全に関する要望が高まると予想される。そこで、自生地で採集した種子から東海地方固有の貴重な湿地性植物を増殖し、「技研バイオの森」の湿地・池ゾーンを活用して、人為的に貴重植物群落を再生する技術の確立する。また、当社で開発された植物新品種を植物見本コーナー内に展示植栽し、研究成果物を示しながら、植物バイオ技術をわかりやすく解説できる場所として内容の充実を図る。

## 2

### 概要説明

整備した緑地は、湿地・池（約600m<sup>2</sup>）植物見本コーナー（約500m<sup>2</sup>）試験圃（約400m<sup>2</sup>）の3つのゾーンから



第1図 「技研バイオの森」の将来図